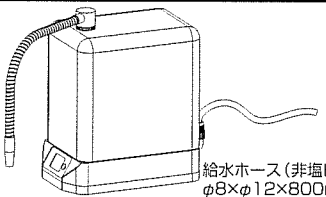
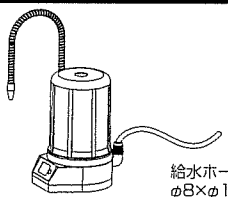
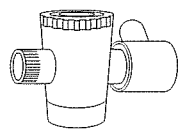

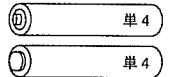


パッケージの内容

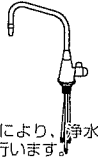
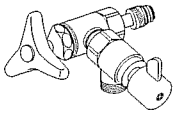
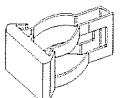


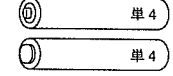
下記の内容物をお確かめの上、不足しているものがありましたら、《HVS》までご連絡下さい。

サンキュー ヨイミズ
0120-39-4532

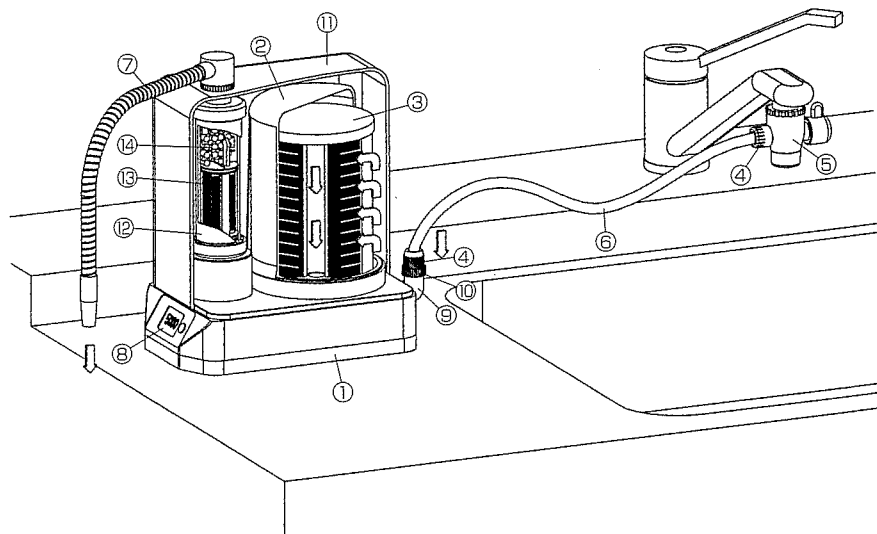
据置きタイプ

磨水Ⅱ本体〈HV-98P-CT〉		OR	磨水ⅡS本体〈HV-98P-CS〉	
 給水ホース(非塩ビ製) φ8×φ12×800mm			 給水ホース(非塩ビ製) φ8×φ12×800mm	
切替コック 1ヶ	アダプター8点セット 1セット		乾電池(単4) 2ヶ	
				
既設の水栓に取り付け、浄水と原水の2段階切り替えを行います。	切替コックを既設の各種水栓に取り付けられるようになっています。		本体に装着し、流量計を 작동させます。	

アンダーシンクタイプ

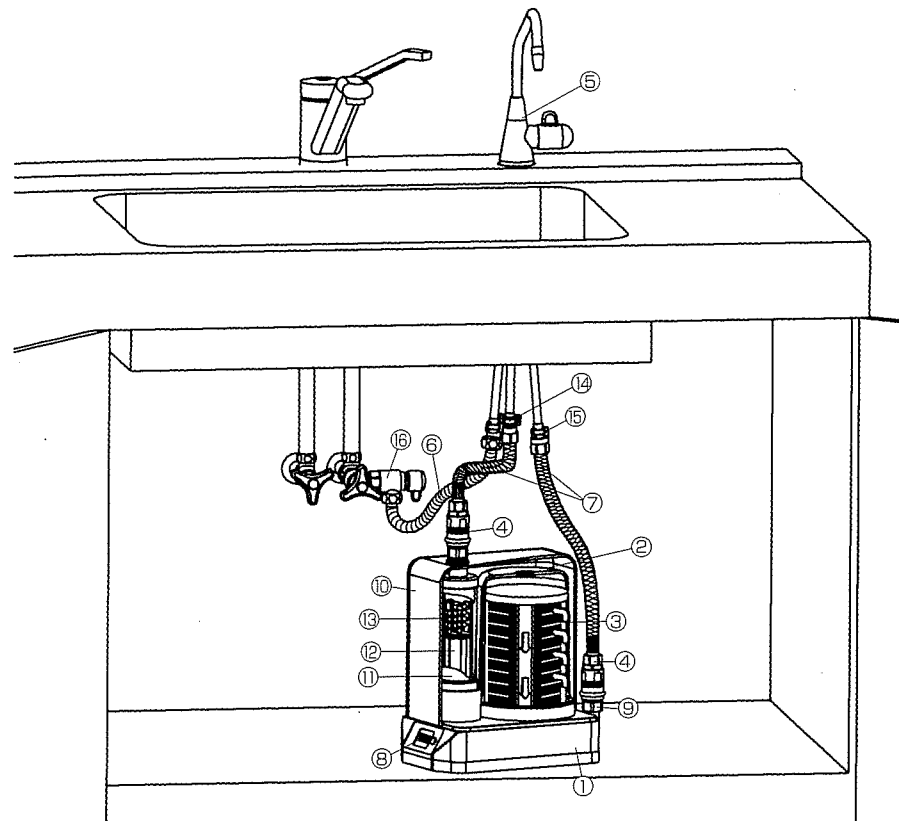
磨水Ⅱ本体〈HV-98P-BT〉		OR	磨水ⅡS本体〈HV-98P-BS〉	
配管キット				
【浄水器専用水栓 1ヶ】 	【アングル分岐上部セット 1ヶ】 		【クイックファスナー 3ヶ】 	
ハンドル操作により、浄水の通水・止水の切り替えを行います。	既設の給水アングル止水栓部に取り付け、専用水栓に給水します。		専用水栓の接続パイプとフレキシブル管、ブレードフレキ管を接続する時に用います。	
【フレキシブル管 600mm 1ヶ】		【ブレードフレキ管 400mm 2ヶ】		アルカリ乾電池(単4) 2ヶ
				
管が届かない場所や、管が極端に折れ曲がる場所には設置しないで下さい。				本体に装着し、流量計を 작동させます。

各部の名称と働き【浄水器 磨水Ⅱ】(据置きタイプ:HV-98P-CT)



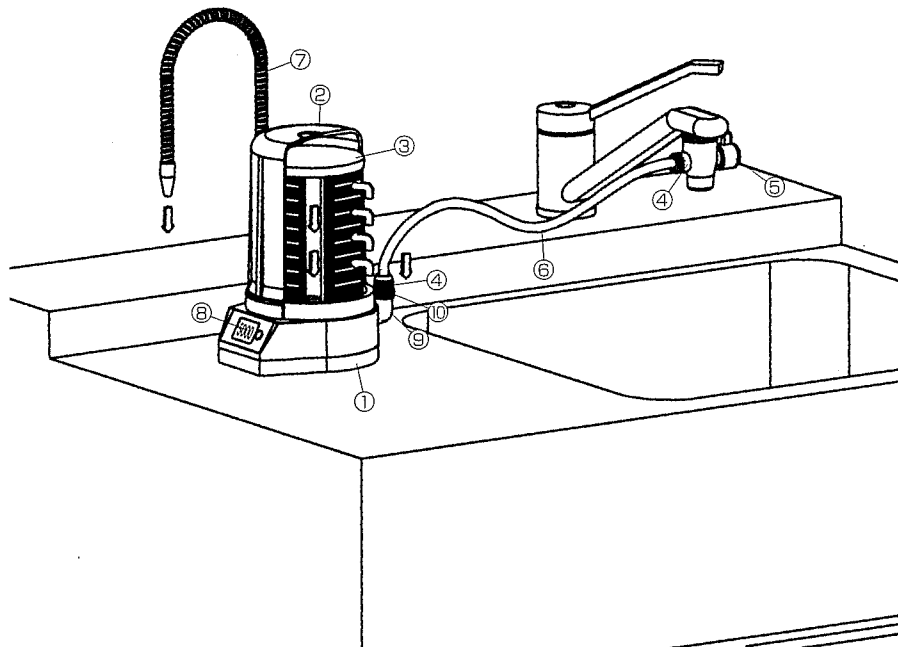
- ① 架台 カートリッジ及び本体ケースを固定します。
- ② カートリッジカバー カートリッジを保護します。これを外してカートリッジ交換を行います。
- ③ カートリッジ 73種類の有害物質（環境ホルモン、ダイオキシンを含む）を多重浄化し、安全な自然水をつくります。
- ④ ホース止ナット 給水ホースと給水ホースニップルをつなぎます。
- ⑤ 切替コック 浄活水・原水の切替を行います。
- ⑥ 給水ホース 切替コックと本体をつなぎます。
- ⑦ フレキシ吐水管 浄活水はここから出ます。
- ⑧ 流量計 残りの使用量と使用中の流量を表示します。
- ⑨ 給水エルボ 本体と給水ホースをつなぎます。
- ⑩ 給水ホースニップル 給水エルボとホース止ナットをつなぎます。
- ⑪ 本体ケース カートリッジとマグネットケースを保護します。
- ⑫ マグネットケース EMXセラミックとフェライト永久磁石を保護します。
- ⑬ フェライト永久磁石 水分子集団を小さくし、水をまるやかにします。
- ⑭ EMXセラミック 無機エネルギーの効果で抗酸化水を生成します。

各部の名称と働き【浄水器 磨水Ⅱ】(アンダーシンクタイプ:HV-98P-BT)



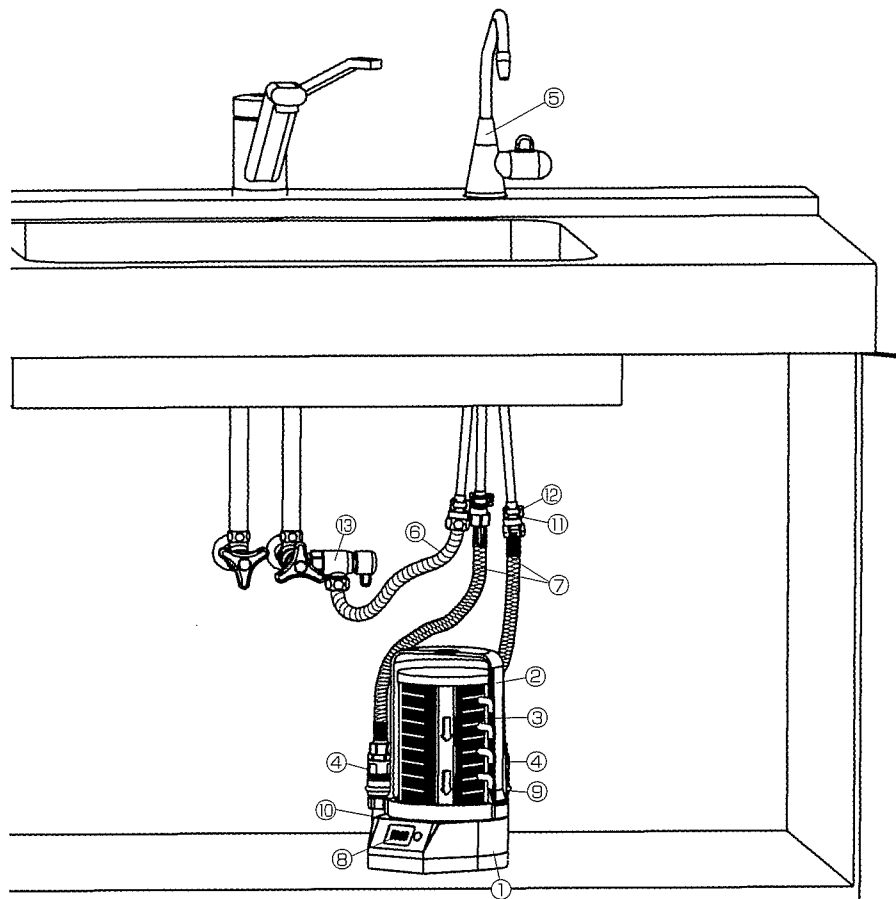
- ① 架台 カートリッジ及び本体ケースを固定します。
- ② カートリッジカバー カートリッジを保護します。これを外してカートリッジ交換を行います。
- ③ カートリッジ 73種類の有害物質（環境ホルモン、ダイオキシンを含む）を多重浄化し、安全な自然水をつくります。
- ④ カプラ 本体とブレードフレキ管をつなぎ、着脱を容易に行います。
- ⑤ 専用水栓 ハンドル操作により通水・止水を行います。専用水栓に給水します。
- ⑥ フレキシブル管 本体と専用水栓をつなぎます。
- ⑦ ブレードフレキ管 専用水栓に給水します。
- ⑧ 流量計 残りの使用量と使用中の流量を表示します。
- ⑨ 給水エルボ 本体とカプラをつなぎます。
- ⑩ 本体ケース カートリッジとマグネットケースを保護します。
- ⑪ マグネットケース EMXセラミックとフェライト永久磁石を保護します。
- ⑫ フェライト永久磁石 水分子集団を小さくし、水をまるやかにします。
- ⑬ EMXセラミック 無機エネルギーの効果で抗酸化水を生成します。
- ⑭ クイックファスナー 専用水栓とフレキシブル管・ブレードフレキ管をつなぎます。
- ⑮ クイックファスナー用カバー クイックファスナーを固定します。
- ⑯ アングル分岐上部 専用水栓への給水を開閉します。

各部の名称と働き【浄水器 磨水ⅡS】(据置きタイプ:HV-98P-CS)



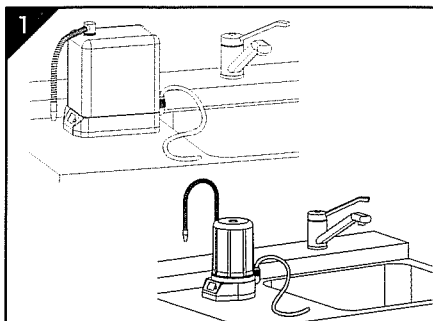
- ① 架台 カートリッジ及びカートリッジカバーを固定します。
- ② カートリッジカバー カートリッジを保護します。これを外してカートリッジ交換を行います。
- ③ カートリッジ 73種類の有害物質（環境ホルモン、ダイオキシンを含む）を多重浄化し、安全な自然水をつくります。
- ④ ホース止ナット 給水ホースと給水ホースニップルをつなぎます。
- ⑤ 切替コック 浄水・原水の切替を行います。
- ⑥ 給水ホース 切替コックと本体をつなぎます。
- ⑦ フレキシ吐水管 浄水はここから出ます。
- ⑧ 流量計 残りの使用量と使用中の流量を表示します。
- ⑨ 給水エルボ 本体と給水ホースをつなぎます。
- ⑩ 給水ホースニップル 給水エルボと給水ホースをつなぎます。

各部の名称と働き【浄水器 磨水ⅡS】(アンダーシンクタイプ:HV-98P-BS)

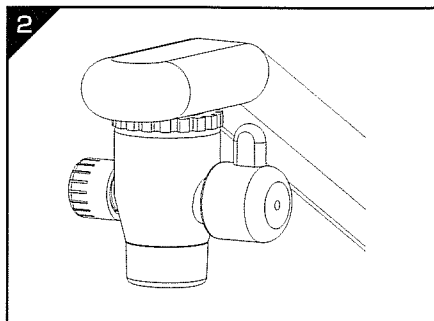


- ① 架台 カートリッジ及びカートリッジカバーを固定します。
- ② カートリッジカバー カートリッジを保護します。これを外してカートリッジ交換を行います。
- ③ カートリッジ 73種類の有害物質（環境ホルモン、ダイオキシンを含む）を多重浄化し、安全な自然水をつくります。
- ④ カプラ 本体とブレードフレキ管をつなぎ、着脱を容易に行います。
- ⑤ 専用水栓 ハンドル操作により通水・止水を行います。
- ⑥ フレキシブル管 専用水栓に給水します。
- ⑦ ブレードフレキ管 本体と専用水栓をつなぎます。
- ⑧ 流量計 残りの使用量と使用中の流量を表示します。
- ⑨ 給水エルボ 本体とカプラをつなぎます。
- ⑩ 吐水エルボ 本体とカプラをつなぎます。
- ⑪ クイックファスナー 専用水栓とフレキシブル管・ブレードフレキ管をつなぎます。
- ⑫ クイックファスナー用カバー クイックファスナーを固定します。
- ⑬ アングル分岐上部 専用水栓への給水を開閉します。

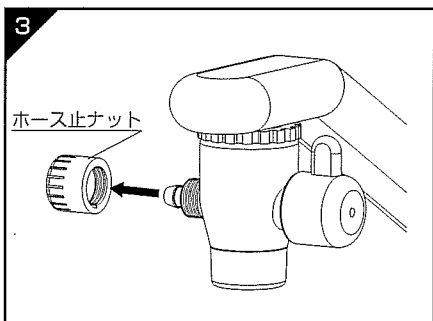
取付方法(据置きタイプ:HV-98P-CT・HV-98P-CS)



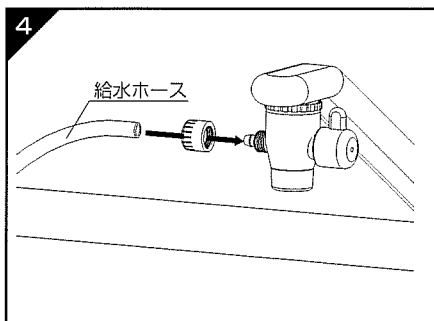
「磨水Ⅱ」「磨水ⅡS」本体を流し台の使いやすい場所へ設置して下さい。



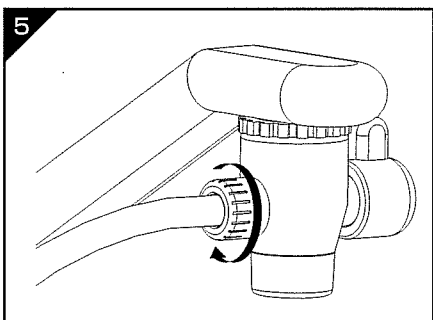
付属の切替コックアダプターセットの取り付け方法(アダプターセット梱包物の裏面)を参考に、ご使用の水栓に合ったアダプターを使い、切替コックを接続します。



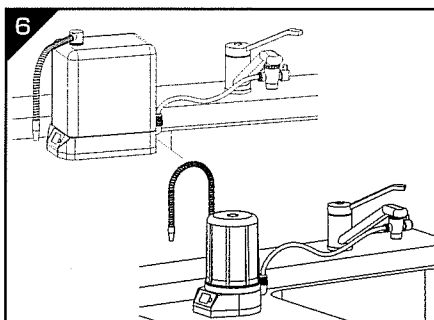
切替コックからホース止ナットを外して下さい。



ホース止ナットに給水ホースを通します。
※ホースが長い場合には、ハサミで最良の長さにご使用下さい。



給水ホースを切替コックに差し込み、ホース止めナットで水漏れがないように強く締め付けます。
※給水ホースが差し込みにくい場合は、給水ホースの先端を水につけると差し込みやすくなります。



取付後、各部分がしっかりと接続、固定されているかを確認の上、通水して下さい。
△注意：各部より水漏れがないことを確認して下さい。

取付方法(アンダーシンクタイプ:HV-98P-BT・HV-98P-BS)

＜設置前の注意＞

△注意 ここに示した注意事項は、状況により重大な結果(本体の故障、水漏れ等)に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守り下さい。

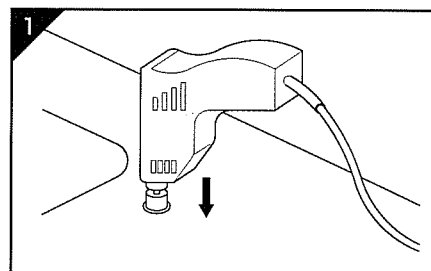
- 1 給水は上水道に接続して下さい。
(温泉水など異物を多く含む水にはご使用になれません。)
- 2 凍結の恐れがある場所には設置しないで下さい。
(この器具は寒冷地用ではありません。)
- 3 必ず同梱の各部品をセットでご使用下さい。
(他社製品の類似部品をご使用しないで下さい。)
- 4 ホーロー、天然石のシンク天板に穴を開ける場合は、キッチンメーカーにご相談下さい。
(カウンターの適合穴径寸法は直径34～36mmです。)

●配管キットの取り付け

①専用水栓

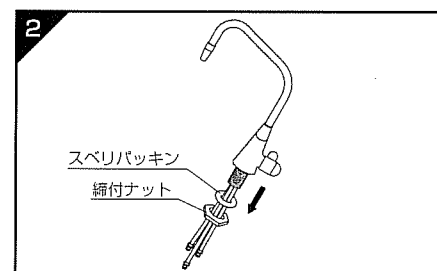
△注意：専用水栓は障害物がなく、レバー操作スペースが確保できる場所に設置して下さい。

△注意：専用水栓は、水栓本体を支えられる強度のある場所に設置して下さい。

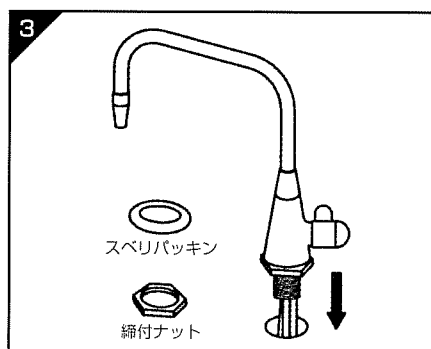


天板に専用水栓取り付け用の穴をあけます。
取り付け位置を確認して、ドリルで穴を開けて下さい。(穴径：直径34～36mm)

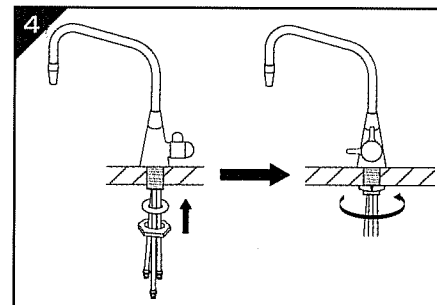
△注意：ホーロー、天然石のシンク天板に穴を開ける場合はキッチンメーカーにご相談下さい。



スベリパッキン、締付ナットを取り外します。



専用水栓を穴に差し込みます。



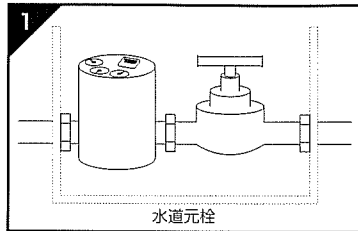
専用水栓を固定します。
スベリパッキン、締付ナットの順に組み付け、締付ナットで固定して下さい。
△注意：水栓本体を固定する前に取り付け穴周囲の汚れを取り除いて下さい。
△注意：専用水栓のレバーハンドルは止水の位置にして下さい。

②フレキシブル管・ブレードフレキ管、配管接続の手順

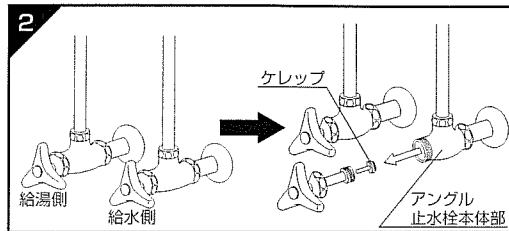
△注意：水道元栓は必ず閉めておいて下さい。

△注意：フレキシブル管は600mm、ブレードフレキ管は400mm2本組となっていますので、各々が届く範囲の場所に「磨水Ⅱ」「磨水ⅡS」本体を設置して下さい。

△注意：各部材は、既設の配管にぶつからない場所に設置して下さい。

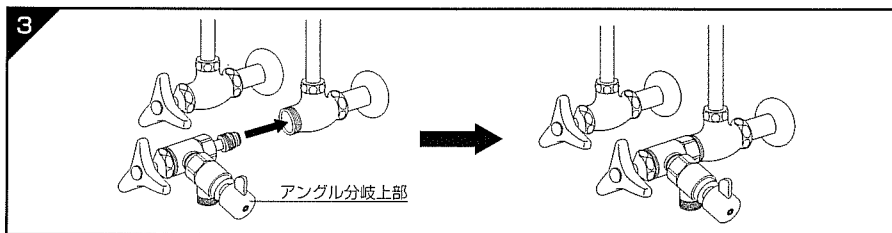


屋外に設置されている水道元栓を開けて下さい。

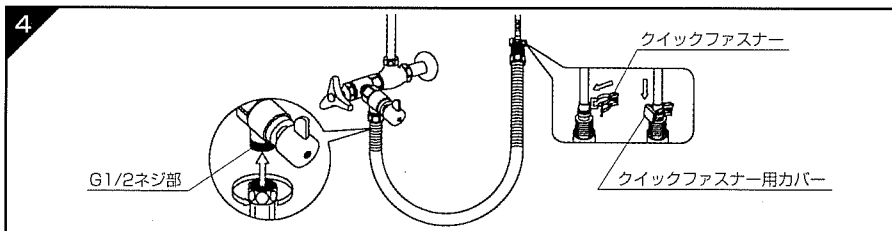


既設の給水側アングル止水栓のハンドル上部ナットを左に回して取り外します。

△注意：この時、ケレップの取り忘れがないようにして下さい。

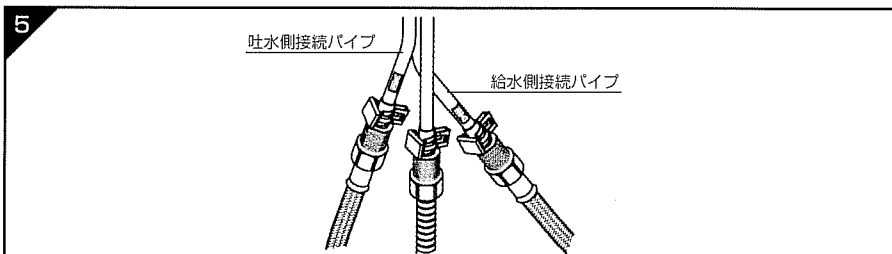


アングル止水栓本体部に付属のアングル分岐上部(固定ケレップ付)のナットを右に回して締め付けて下さい。



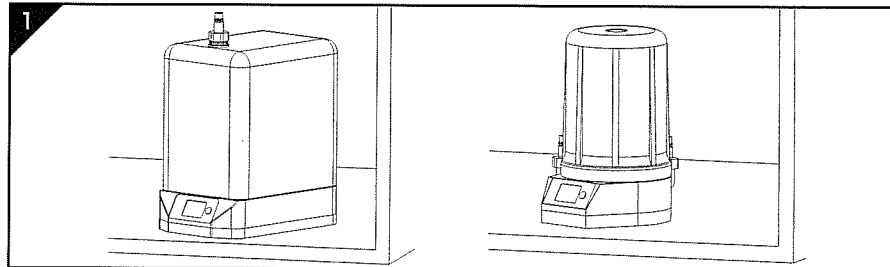
レバーハンドルのG1/2ネジ部に給水管フレキシブル管を右に回して取り付けして下さい。

専用水栓の一番長い接続パイプ(給水と表示されている)に給水管フレキシブル管を押し込み、クイックファスナーで接続して下さい。

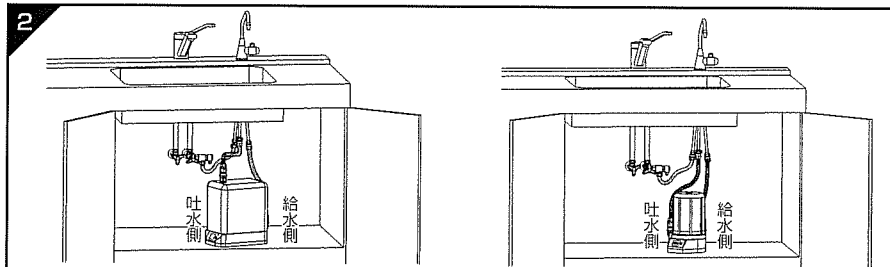


吐水側・給水側のブレードフレキ管を専用水栓の吐水側接続パイプ(↑)と給水側接続パイプ(↓)に押し込み、クイックファスナー(詳細は9ページ)で接続します。

③「磨水Ⅱ」「磨水ⅡS」本体の設置

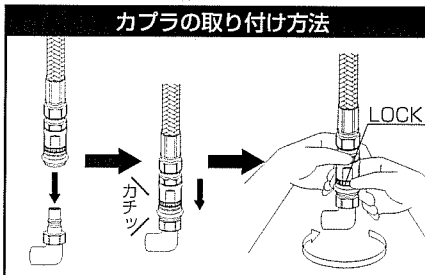


400mmのブレードフレキ管が接続可能で極端に折れ曲がらない場所へ「磨水Ⅱ」「磨水ⅡS」本体を設置します。

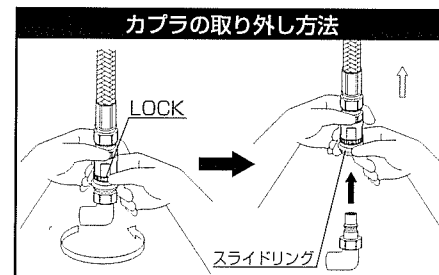


給水側ブレードフレキ管を上図のように本体の給水側に、吐水側ブレードフレキ管を本体の吐水側にそれぞれカブラで接続します。

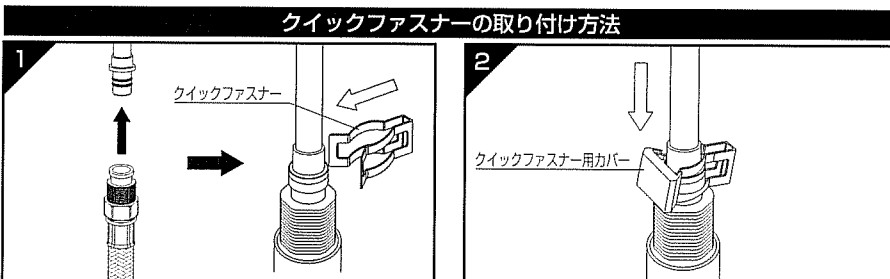
△注意：取り付け終了後、最終点検を行って下さい。(10ページ「水漏れの確認」参照)



カブラノズルにカブラを“カチッ”と音がするまで差し込み、LOCKします。



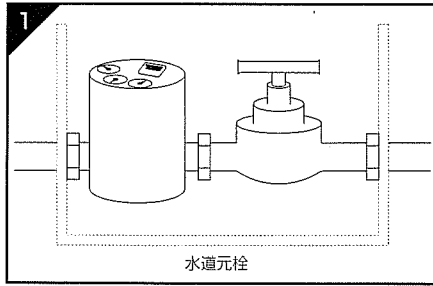
LOCKを外し、カブラの先端部のスライドリングを引き下げます



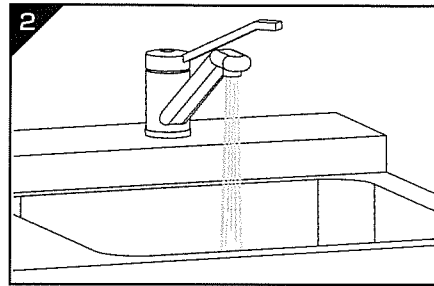
専用水栓の接続部とブレードフレキ管を取り付け、クイックファスナーで固定します。

クイックファスナー用カバーを取り付けます。

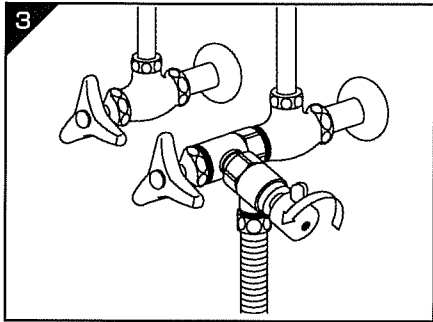
アンダーシンクタイプ 最終点検 (水漏れの確認)



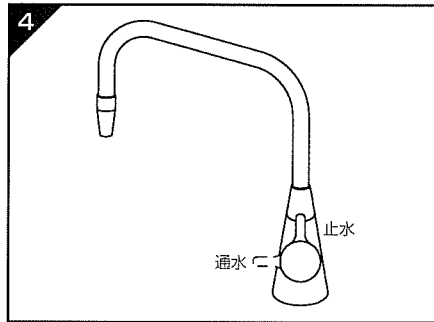
屋外に設置されている水道元栓を開きます。



既設配管内を洗浄します。
アングル分岐上部が開閉であることを確認し、既設の混合水栓から水を十分に流して下さい。
△注意：『磨水Ⅱ』『磨水ⅡS』に水を流さないで下さい。(早期目詰まりの原因となります。)

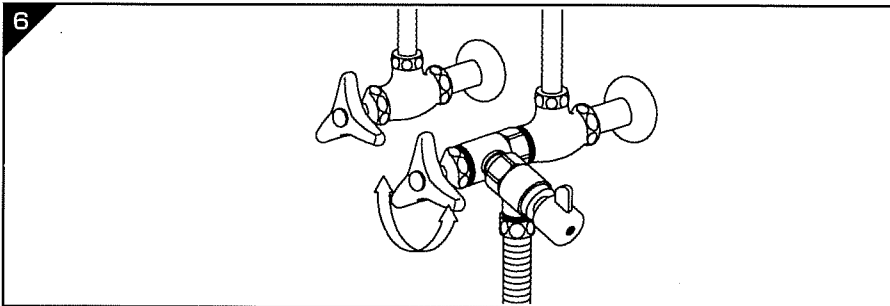


アングル分岐上部を開きます。



専用水栓のレバーハンドルをゆっくり開き、カートリッジに通水します。
△注意：通水開始時に空気が出ますので、レバーはゆっくり開けて下さい。

5 配管各部の水漏れがないことを確認します。
△注意：レバーハンドルの開閉作業を繰り返し行って、水漏れがないことを確認して下さい。

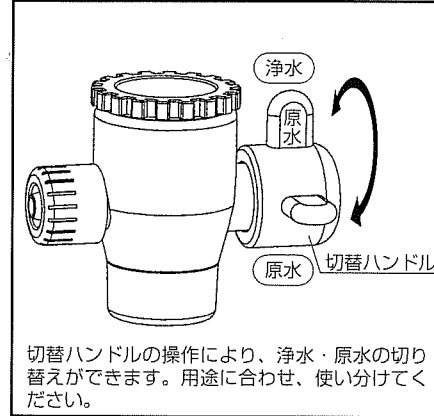


流量の調整
設置条件を確認の上、専用水栓のレバーハンドル全開で適切な流量が得られるように上図ハンドルを調節して下さい。

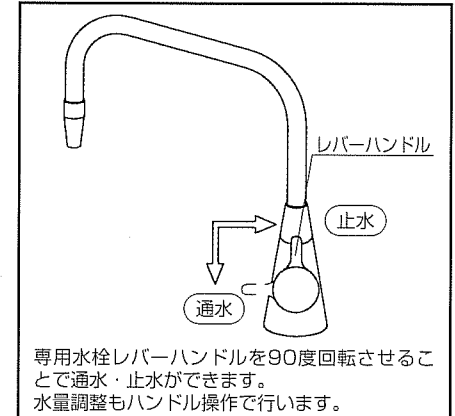
ご使用方法

据置きタイプ：HV-98P-CT・HV-98P-CS

アンダーシンクタイプ：HV-98P-BT・HV-98P-BS

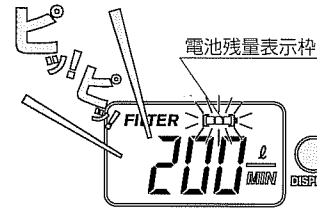


切替ハンドルの操作により、浄水・原水の切り替えができます。用途に合わせ、使い分けてください。

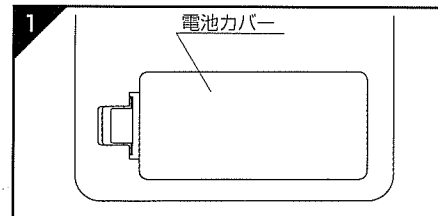


専用水栓レバーハンドルを90度回転させることで通水・止水ができます。水量調整もハンドル操作で行います。

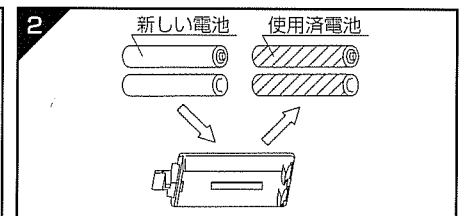
乾電池の交換方法



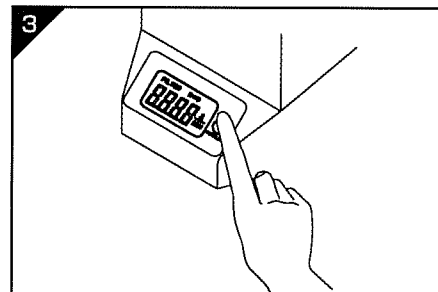
乾電池の残量が0になると、「電池残量表示」枠を点滅させ連続5回のアラーム音が鳴ります。
△注意：電池を交換する際には、必ず磨水Ⅱ・磨水ⅡSの使用を停止してから行って下さい。
△注意：電池は交換時期がきたら必ず交換して下さい。(交換を行わずに使用し続けると流量計の表示が正しく動作しません。)
△注意：交換時期がきた電池は、新しい電池を手元にご用意して頂き、速やかに交換して下さい。電池が本体に取り付けられている状態、もしくは、電池交換時の約1分間の電池離脱時のみ「残りの使用量」の値はメモリー保持されています。



電池カバーは本体の底部にあります。



使用済乾電池と新しい乾電池を交換します。



流量計のスイッチを押し、乾電池が正しく交換されたことを確認して下さい。
△注意：乾電池のセットされていない状態での通水はお止め下さい。(その間、流量がカウントされません。)
△注意：スイッチを5秒以上押し続けると、表示がリセットされてしまいます。

※尚、16ページの流量計取り扱い注意事項も必ずご参照下さい。

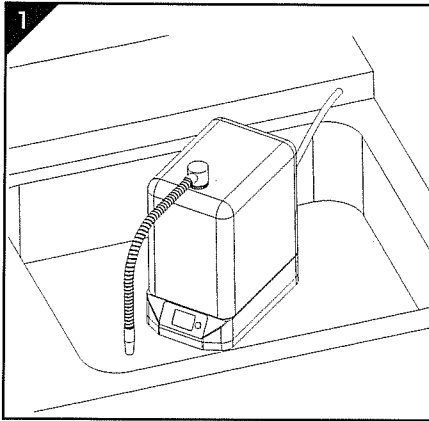
カートリッジ交換方法

※磨水Ⅱには、カートリッジ（圧縮球形活性炭4層フィルター）とマグネットケース（EMXセラミック＋フェライト永久磁石）が付いていますが、マグネットケースは永久使用が可能である為、交換不要です。

以下のいずれかの項目に当てはまった場合はカートリッジの交換の為、お買い上げ店もしくはHVSにお問い合わせ下さい。

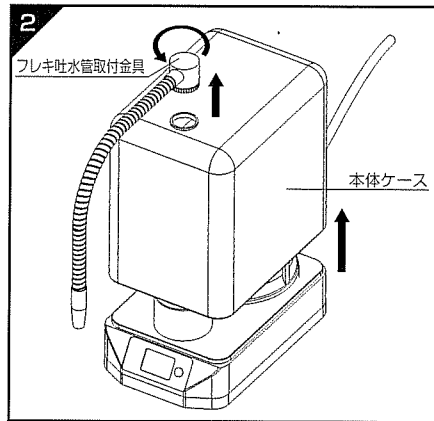
- (A) アラーム音が鳴り、「残りの使用量」表示が200ℓに達した場合。
(本体の流量計でご確認下さい。)
- (B) 流量が著しく低下し、「使用中の流量」表示が毎分1.0ℓ以下の点滅になった場合。
(本体の流量計でご確認下さい。)
- (C) カルキ臭やその他の臭いが著しくようになった場合。
※水道水の水質、水圧、水温等の使用状況により地域差があります。

据置きタイプ：HV-98P-CT

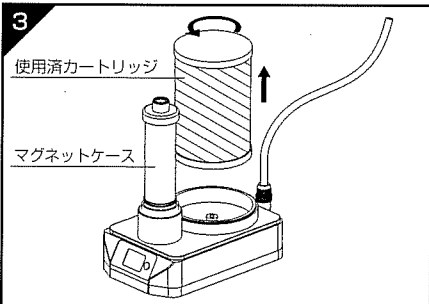


本体を流し台等水が漏れても差し支えないところへ持っていきます。

△注意：カバーを取り外す時、流量計に水がかからないように行って下さい。
(表示不良の原因となります。)

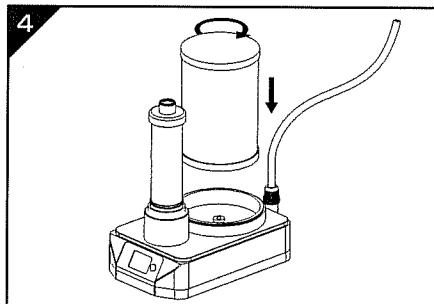


本体上部のフレキ吐水管取付金具を左に回して取り外し、本体ケースを取り外します。



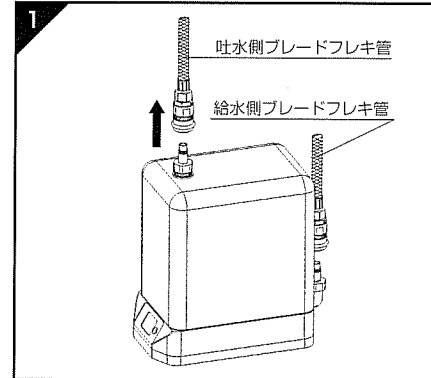
架台から使用済カートリッジを左に回して取り外して下さい。

- △注意：取付後、通水状態での水漏れがないことを確認して下さい。
- △注意：カートリッジ交換後必ず流量計をリセットして下さい。(リセット方法15ページ参照)
- △注意：使用済カートリッジはHVSが回収します。(カートリッジ返送方法14ページ参照)



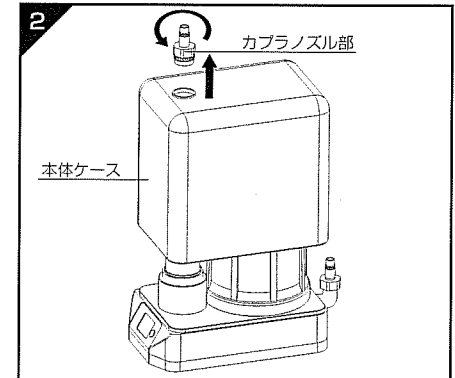
新しいカートリッジを右に回して取り付けて下さい。

アンダーシンクタイプ：HV-98P-BT



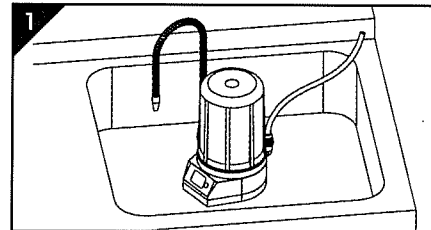
アングル分岐上部を開め、給水側・吐水側フレキ管を本体から取り外し、本体を流し台等の水が漏れても差し支えない所へ持っていきます。
△注意：カバーを取り外す時、流量計に水がかからないように行って下さい。
(表示不良の原因となります。)

※この後のカートリッジ交換は、12ページの据置きタイプHV-98P-CTの手順2以降と同様の手順で行ってください。

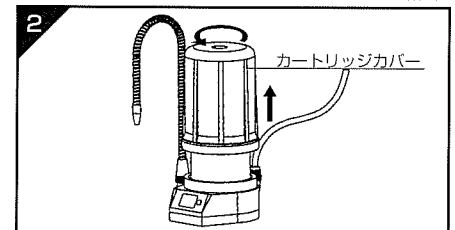


本体ケース上部のカプラノズル部を取り外し、本体ケースを取り外します。

据置きタイプ：HV-98P-CS



流し台等の水が漏れても差し支えないところへ本体を持っていきます。

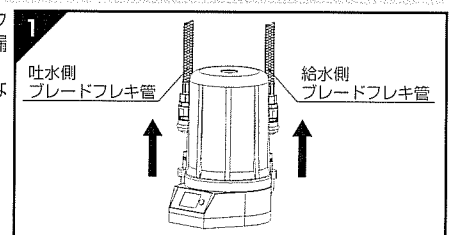


カートリッジカバーを左に回して取り外して下さい。
△注意：カバーを取り外す時、流量計に水がかからないように行って下さい。
(表示不良の原因となります。)

※この後のカートリッジ交換は、12ページの据置きタイプHV-98P-CTの手順2以降と同様の手順で行ってください。

アンダーシンクタイプ：HV-98P-BS

アングル分岐上部を開め、給水側・吐水側フレキ管を本体から取り外し、本体を流し台等の水が漏れても差し支えない所へ持っていきます。
△注意：カバーを取り外す時、流量計に水がかからないように行って下さい。
(表示不良の原因となります。)



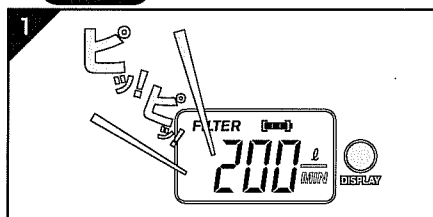
※この後のカートリッジ交換は、12ページの据置きタイプHV-98P-CTの手順2以降と同様の手順で行ってください。

カートリッジ返送方法

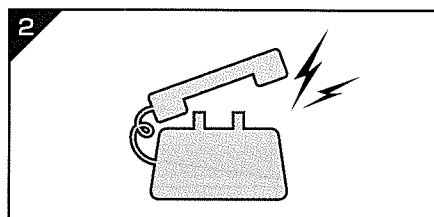
環境を大切に…。

環境を保護し、有害ゴミを削減するために、早川バルブは使用済みカートリッジの回収を行っております。

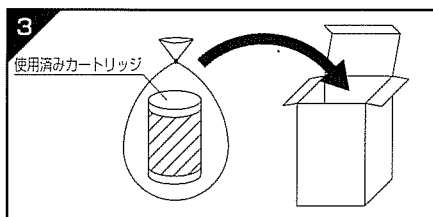
手順



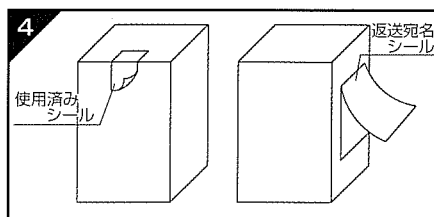
1 流量計の「残りの使用量」が200ℓを下回った場合、アラーム音が3回鳴り「FILTER」マークが点滅します。



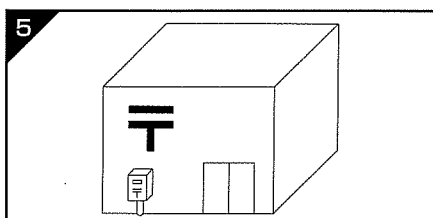
2 新しいカートリッジをご購入して下さい。
(お買い上げ店もしくはHVSへご連絡下さい。)
お求め販売店の場合……直接お買い求め、もしくはご郵送致します。
HVSの場合……ご郵送致します。



3 新しいカートリッジが入っていたビニール袋・箱に使用済みカートリッジを入れます。



4 同封されている「使用済みシール」で箱に封をして頂き、返送先の貼り付け部分に「返送宛名シール」貼して下さい。



5 お近くの郵便局にて、発送して下さい。郵送代金は当社が負担致します。

回収にご協力下さい

尚、交換用カートリッジは¥24,000(送料込、消費税別途)です。
HVSへのご注文の場合、代金はセントラルファイナンスのショッピングクレジット、もしくはクレジット各種(VISA)(JCB)(DC)(マスター)あるいは銀行お振込みでのお支払いとなります。(ご注文時にお支払い方法をご指定下さい。)

※ご不明点・ご意見・ご要望は下記まで

サンキュー ヨイミズ
0120-39-4532

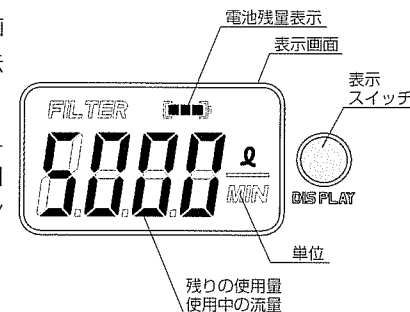
流量計表示仕様

表示画面は通常は消灯しています。操作中は点灯し、無操作状態で10秒程度経過後、消灯します。

基本的な動作

「残りの使用量」表示：スイッチを1回押すと表示画面に「残りの使用量」が表示されます。

「使用中の流量」表示：「残りの使用量」が表示されている時にスイッチを1回押すと「使用中の流量」(ℓ/分)が表示されます。



カートリッジ交換残量表示

- ・「残りの使用量」が200ℓを下回った時点及び、0ℓになるまで、水を流す度にアラーム音が短く3回鳴り、「FILTER」マークが点滅します。
- ・「残りの使用量」が0ℓになった場合、アラーム音が10秒間鳴り続け「FILTER」マークが点灯します。尚、0ℓ以降も水を流す度にアラーム音が10秒間鳴り続けます。

リセット方法

- ① 「残りの使用量」の表示又は、「使用中の流量」が表示されている状態で、スイッチを5秒以上押し続けて下さい。
- ② 長めのアラーム音が1回鳴るとリセットが完了し、「残りの使用量」が5,000ℓに戻ります。

電池の残量表示

- ・電池のセット直後は「電池残量表示」の3つが全て点灯しており、残量に応じて減っていきます。
- ・3つ全てが消灯となった場合、「電池残量表示」が点滅し、連続5回のアラーム音が鳴ります。
- ・使用する電池は単4アルカリ仕様の電池(1.5V仕様 2ヶ)です。(交換目安：約1年)
- ・充電電池(充電が可能な電池)は使用できません。(電圧不足の為)

※尚、16ページの流量計取り扱い注意事項も必ずご参照下さい。

流量計取扱い注意事項

- 流量計は防水処理は施していない為、水分が付着・浸水するような使用は避けて下さい。漏電や表示画面の誤表示につながります。
- 下記の条件下でご使用下さい。
使用温度範囲→0～50℃（結露していないこと）
流量計の動作不良、表示画面の誤表示につながります。
- 表示画面への落下等による強い衝撃・圧力は避けて下さい。表示画面の破損により流量計動作不良につながります。
- 表示画面が直射日光に当たるような使用は避けて下さい。表示画面のデジタル数字と背景の濃淡の差がなくなり、表示が読み取りにくくなります。
- 流量計は直流の3V（単4アルカリ電池2本）で動作する仕様で設計されていますので、本体の改造により一般家庭のコンセントへの接続を可能にした方法、外国製の電池を使用するようなことは避けて下さい。流量計動作不良につながります。
- 電池ケース内への浸水、結露のないようにして下さい。漏電や表示画面の誤表示につながります。
- 磁力、強磁界（電子レンジへの保管、強い電波を発している無線機等）のものを表示画面に近づけないようにして下さい。表示画面の誤表示につながります。
- 電池を交換の際、電池を取り外したままで放置をしないようにして下さい。流量計の値が保持されずに、初期値（5000ℓ）へ戻ってしまいます。
- 使用する電池は単4アルカリ仕様の電池（1.5V仕様）です。（交換目安：約1年）ただし、流量計で電池の残量表示がされていますので、そちらでもご確認下さい。
- スイッチを5秒以上押しつづけますと、表示がリセットされてしまいます。
- 表示画面を指で強く押しつづけないで下さい。（故障の原因となります。）
- 「使用中の流量」は1.0～5.0ℓ/分の表示となります。
（1.0ℓ/分以下、5.0ℓ/分以上の流量の場合はそれぞれ点滅表示します。）
- 実際の流量が0.36ℓ/分以下の場合、流量計の「使用中の流量」表示が0ℓ/分のままととなり、「残りの使用量」の数が減らないことがあります。それは流量計の構造が、水車形状のものであり、流れた水によって水車が回り、計測される仕組みになっていますので0.36ℓ/分以下の流量では水車が回らないことがある為です。
- 流量計の精度につきましては、「使用中の流量」が1.0～5.0ℓ/分については、±2.5%（カートリッジの安全性を考慮し、+側5%、-側0%に調整しております。）程度の誤差がありますが、1.0ℓ/分未満、5.0ℓ/分以上についてはこの限りではありません。
- 流量計のリセットは1度押すと取り消しできません。
- 電池は交換時期がきたら必ず交換して下さい。
（交換を行わずに使用し続けると流量計の表示が正しく作動しません。）
- 交換時期がきた電池は、新しい電池を手元にご用意して頂き、速やかに交換して下さい。電池が本体に取り付けられている状態、もしくは、電池交換時の約1分間の電池離脱時のみ「残りの使用量」の値はメモリー保持されています。

仕様

形 式	据置きタイプ		アンダーシンクタイプ	
	種 類	HV-98P-CT	HV-98P-CS	HV-98P-BT
濾 材	圧縮成形活性炭・セルローズ繊維・ポリエチレン繊維 活性化触媒			
活 性 化 触 媒	EMXセラミック フェライト永久磁石	/		EMXセラミック フェライト永久磁石
除去対象物質	残留塩素 73項目の有害物質（環境ホルモン、ダイオキシンを含む）			
標準濾過水量	2ℓ/分（最低圧力時0.13MPa{1.35kgf/cm ² ）			
常用使用圧力	0.2～0.39MPa（2～4kgf/cm ² ）			
最高使用水温	38℃			
残留塩素濾過能力	5,000ℓ（NSF試験合格：OPPM時）			
濁度濾過能力	4,500ℓ（日本食品分析センター調べ：0.2度以下時）			
トリハロメタン濾過能力	5,000ℓ（NSF試験合格：OPPM時）			
濾過材交換時期	以下のいずれかの項目に当てはまった場合はカートリッジの交換が必要となる為、お買い上げ店もしくはHVSにお問い合わせ下さい。 (A) アラーム音が鳴り、「残りの使用量」表示が200ℓに達した場合。 （本体の流量計でご確認下さい。） (B) 流量が著しく低下し、「使用中の流量」表示が毎分1.0ℓ以下の点滅になった場合。（本体の流量計でご確認下さい。） (C) カルキ臭やその他の臭いが著しくするようになった場合。 ※水道水の水質、水圧、水温等の使用状況により地域差があります。			

お取り扱い上の注意

- 1 本器は、家庭用飲料水にご使用頂く目的で設計されたものです。飲料水以外の水道水には使用しないで下さい。
- 2 **38度以上**のお湯は通さないで下さい。（カートリッジの圧縮固形活性炭の性能が著しく低下する恐れがあります。）
- 3 本器は寒冷地用ではありません。凍結の恐れがある場所には設置しないで下さい。
- 4 交換する時以外はカートリッジを絶対に外さないで下さい。
念の為、毎朝ご使用する前に**30秒間程度**、浄水を通水してからご使用下さい。
- 5 2日間以上使用されない場合には浄水を**3分間**ほど流してからご使用下さい。
- 6 浄水した水は汲み置きしないで下さい。塩素を除去しているため、短時間で雑菌が繁殖する場合があります。
- 7 断水等によって配管内の赤サビが大量に出る場合、一度原水で赤サビを流してから浄水に切り替えて下さい。
- 8 水道工事や給水タンクの掃除を行った直後は、水道管に残っているゴミがカートリッジ本体を詰まらせることがありますので、事前に本体を取り外しておき、しばらく原水を流して濁りが無くなってから取り付け、ご使用下さい。
- 9 本体ケースのお手入れの際は**シンナー、ベンジン、みがき粉、化学ぞうきん、たわし**等は使用しないで下さい。汚れを取る時は、濡れたフキンで拭き取って下さい。
- 10 井戸水の場合、目詰まりにより流量が低下し、カートリッジの寿命が短くなることがあります。
- 11 カートリッジの分解はしないで下さい。
- 12 カートリッジの交換は、流量計に水がかからないように行ってください。（流量計の表示不良につながります。）

異常時の処理

★異常が発生した場合、修理をご依頼される前に下記の表に従ってもう一度ご確認ください。




★チェックしても直らない時は、2つ折りお客様登録カードの無料修理規定をよくお読みになり、修理を依頼して下さい。

異常	原因	処 理
浄水を止水してもしばらくの間、吐水口から水が流れ出ている。	故障ではありません。カートリッジの特長ですが、残圧が本体内の滞留水を全て放流するので、この現象がおきます。尚、この特長の為、本体内の雑菌繁殖等の問題はありません。	
切替コックから水が漏れる。	切替コックが正しく水栓、吐水パイプに取り付けられていない。 切替コック内部のパッキンがよじれている、もしくは付け忘れている。	切替コックアダプターセットの取付方法（台紙裏面に記載）に従ってもう一度付け直して下さい。 パッキンを紛失された場合はお買い上げ店もしくはHVSにお問い合わせ、別売品をお求め下さい。
水量が多くてはねる。	水圧が高すぎる。	止水栓を絞って下さい。 減圧弁を付けて下さい。
水が出ない。	止水栓を開いていない。	止水栓を開いて下さい。
	給水栓エルボ ^{※1} に取り付けられているストレーナー付きパッキンにゴミが詰まっている。 ※1 P2. P3. P4. P5の⑧	給水エルボ ^{※1} に取り付けられているパーツ ^{※2} を取り外して頂き、ストレーナー付きパッキンを掃除して下さい。 ※2 P2. P4の⑩ P3. P5の④
エルボから水が漏れる。	給水ホースが十分に締め付けられていない。	給水ホースの取り付け方法に従って締め直して下さい。
本体ケースと架台の間から水が漏れる。	カートリッジカバー底部の間のOリングがよじれている。（あまり強くねじ込むとよじれる事があります。）	カートリッジカバーをOリングに注意しながら締め直して下さい。

異常	原因	処理
スイッチを押しても表示しない。又は、すぐに動作しなくなる。	電池の残量確認。	新しい電池に交換して下さい。
	電池の取付け方向が正しいですか。	電池ケース底部を参考に正しい方向へ取り付けて下さい。
	電池金具は錆びていないですか。	錆をブラシ等で落として下さい。
	電池の種類は正しいですか。	アルカリ仕様の電池に取り替えて下さい。
	電池が水等に濡れていないですか。	水分を拭き取って下さい。
流量計が水を流す毎に鳴り続ける。	P15「カートリッジ交換残量表示」を参照して下さい。	カートリッジ交換時期がきましたので、リセットボタンを押して流量計表示を5000ℓに設定して下さい。 ※設定方法：P15「リセット方法」
流量計の値が進まない。	「使用中の流量」表示を確認して下さい。表示が1.0ℓ/分以下の点滅になっていませんか。	蛇口のハンドルを緩めて流量計の値が進むかを確認して下さい。

その他の異常が発生した場合、下記へご連絡下さい。

株式会社早川バルブ製作所
開発課へ

 **0120-39-4532**
サンキュー ヨイミス

こんな時は修理が必要です

★以下の症状の時は、ただちにご使用を停止してお買い上げ店もしくはHVSにご連絡下さい。

- 表示画面に異常な表示、数字が欠ける。
- 本商品の各種ゴムパッキン等の消耗、プラスチック類の損傷・破損。
- 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
- お買い上げ後の落下等による故障及び損傷。
- 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変による故障及び損傷。
- 一般家庭以外にご使用の場合の故障及び損傷。

保証書の要領

本製品は、同封の「お客様登録カード」をご記入、ご送付がなかった場合、製品についての保証はされません。

無料修理規定

1. 保証期間（お買い上げ後1年間）内に取扱説明書等の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、無償で修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には下記にご連絡下さい。
3. ご転居の場合は、お買い上げ店もしくはHVSにご相談下さい。
4. 保証期間内でも有料修理になることがあります。（詳しくはお客様登録カードの無料修理規定をご覧ください。）
5. 保証書（控）は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管して下さい。
6. 保証書（控）は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。従って保証書（控）によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。
7. 保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、下記にご連絡下さい。
8. 保証は日本国内においてのみ有効です。

《HVS》  **0120-39-4532**
サンキュー ヨイミス

製品の保証登録の手順

- ①同封の「お客様登録カード」に必要事項を書き入れて下さい。
- ②はがきをマシン目に沿って切り離して下さい。
- ③「お客様登録カード」を投函して下さい。
※切り離した保証書（控）は大切に保管しておいて下さい。

